

Sharing Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2016 夏 VOL. 13

2016 Nature Game

30th

ANNIVERSARY

ネイチャーゲーム普及30周年

自然に暮らす

遊んで、
学んで、
楽しんで!

設置店募集!

「地の酒」を 味わう

自然の延長にある酒造り

<http://www.naturegame.or.jp/>

通巻
100号

いま
94号
あと
6号



自然に寄りそう 未来につなぐ
公益社団法人
日本シェアリングネイチャー協会

スポーツビル
BIG

スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています



自然の延長にある
酒造り

遷るころ

自然の中で

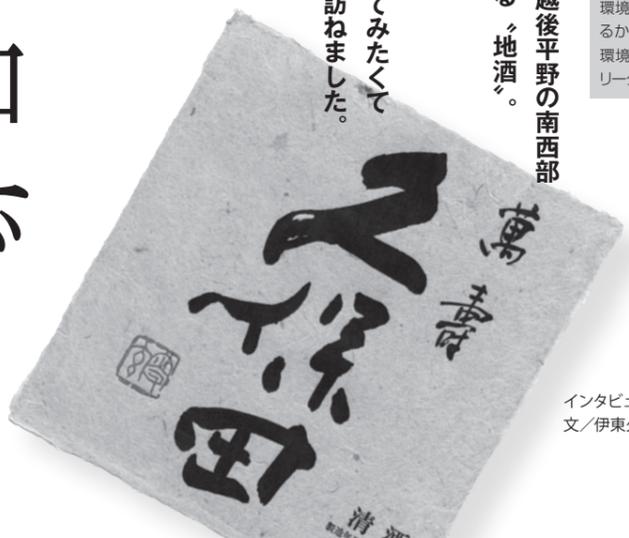
米処・新潟、信濃川と渋海川に育まれた越後平野の南西部
その地で190年程前から造り続けられる「地酒」。
自然の延長線上でつくられる——
そういわれる日本の酒造りのなかに
脈々と流れる「造り手の自然感」に触れてみたくて
仕込みが終盤を迎えた春、長岡市越路を訪ねました。



地酒の守り手
【酒造メーカー取締役】
平澤 聡さん

朝日酒造株式会社取締役。
公益財団法人「こし水と
緑の会」理事。朝日酒造の
環境活動に一貫して関わ
るかたわら、自然保護や
環境教育のボランティア
リーダーとして活動する。

インタビュー/編集部・伊東久枝
文/伊東久枝



「どんなに酒造りの技術が優れていて
も、原料のもつ味を超えることはできな
いんです。まさに自然には勝てない。そ
ういうことです」
蒸された米やお酒の香りがほのかに漂
う酒蔵のなかをめぐるながら、そう話す
のは朝日酒造株式会社の平澤聡さん。
「結局、酒造りは米と水の質がすべて。

研究を重ね、すぐれた麹菌や管理デー
タをつくりあげても、米と水がよくなけれ
ばいいお酒は決してつくれません」
仕込みが続く酒蔵。目の前に並ぶタン
クの中では、酒造りに欠かせない小さな
生物「酵母」が泡を吹くようにぼこぼこ
と勢いよく盛り上がって見えます。
「泡のように見えますが、泡ではなく、



このたびの震災で、被災された熊本県・大分県のみ
なさまに心よりお見舞い申し上げます。

先日、若干の支援物資を持って、現地での支援活動
に同行してきました。

支援物資が積み上げられた広い避難所には、床に敷
かれたマットの上に黙って座っている高齢の方が10人
ほどおられました。その方たちに仲間が、ひげだらけ
の顔で「温かいお茶飲みませんか」と優しく声を掛け
ました。そして半畳程の黒い布を広げ、持ってきた保
温ポットや急須を並べ、着物に着替えて“素敵な空間”
を作りました。丁寧に茶をいれ、湯飲みを一人一人
に手渡すと、「ずっと、ペットボトルと紙コップだった
から」「温かいお茶が、こんなにゆっくり飲めるなんて」
と、みなさん嬉しそうでした。涙ぐむ人もいました。

「物」だけではない、シェアリングネイチャーらしい
「人に寄り添う」支援の現場を見ることができました。
そして、今も続いている岩手県・宮城県での「お茶っ
こ広場」の大切さを改めて感じました。

熊本・大分の仲間が中心となり、被災した親子への
「あそび支援」などの活動も始まりました。今後も被災
地での小さな支援活動へのご協力をお願いいたします。

日本シェアリングネイチャー協会
代表理事 西澤信雄

「シェアリングネイチャー」
それは、人が自然を尊重し
共生していく社会のキーワード。
公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会は
「自然と遊び、自然から学ぶよろこびにあふれた生活」
をおくる人の輪を広げる活動を行っています。

Sharing SN Nature Life

シェアリングネイチャーライフ

2016 夏 VOL. 13
6月号

contents

特集 ●「地の酒」を味わう	3
イベントレポート	7
被災地復興支援情報	7
News	7
自然が先生! ●ところ変われば邪魔もの扱い?	8
ネイチャーゲームで体験しよう! <植物遷移の旅>	8
SNLな仲間たち ●香川県・豊田佐雄さん	10
プレゼント	10
ジョセフ・コーネルの課外授業 ●移ろいやすい心	11
四角友里 ●なんにもしないアウトドア	12

日本でのネイチャーゲーム普及30周年
ジョセフ・コーネル あと105日 (6/15 時点)
来日まで

事務局は今...!
30周年記念行事の準備に追われています。米国在住のネ
イチャーゲーム創始者ジョセフ・コーネル氏とメールで連
絡を取りあい、来日中の動きを確認。そして、コーネル氏
の新刊本『The Sky and Earth Touched Me』の翻訳本出
版、日本での普及の歴史をまとめた『30周年記念パンフ』
の発行に向けて編集作業まっただ中! 忙しいけれど充実
した日々です。

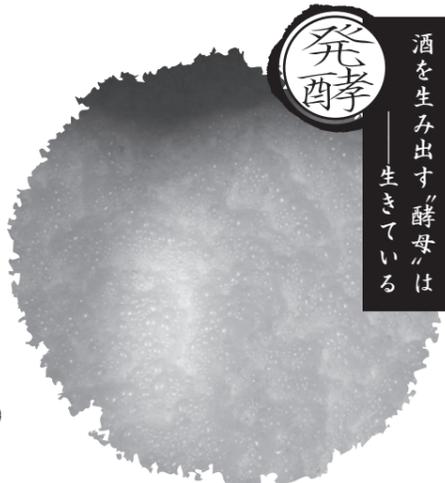
「地酒」—それは土地の自然が、そこに添う人が創る“味”



酒造りを支える自然

里

受け継がれる日本の里山が育む環境が、うまい酒をつくる。



発酵

酒を生み出す「酵母」は生きています

麹がつくった“糖”を、『酵母』で“発酵”させるとアルコール(酒)と炭酸ガスができる。



麹

自然の力が糖をつくる

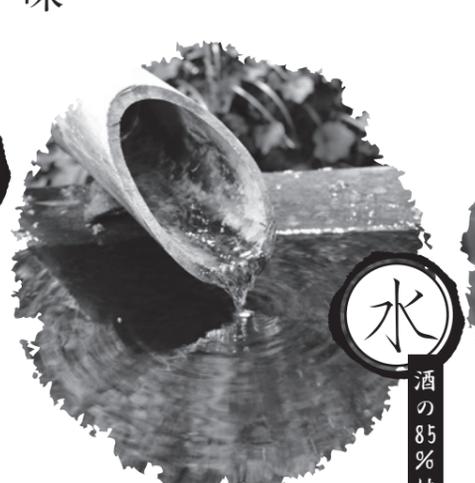
麹の働きで米のでんぷんを“糖化”させる。こうして酵母の“エサ”ができる。



心

酒造の神木、杉が守る

朝日酒造に隣接する氏神様。



水

酒の85%は水

創業以来使い続けられている、貴重な地下水。



米

酒の味を決める

『久保田』の原料はすべて新潟、地の米。

酒造りには、酒蔵の建材以外にも樽や道具など、昔は多くのスギが使われていました。現在は酒粕に木くずが混ざるのを避け、ほとんどの道具はステンレスやチタン製に代わっています。それでも、スギは今も酒造りの神木といわれ、多くの造り酒屋で祭られているそうです。そして近代的な社屋になった朝日酒造でも、毎年新酒ができる、昔ながらの『杉玉』を軒先に掲げ、今年のお酒のできあがり

「蒸された米の湿気を吸って、部屋が徐々に乾燥してくれば少しずつ吐き出していく。それが日本酒の味を左右する要素でもある『吟醸麹』と呼ばれる独特な米麹をつくるのにも適しているんです」と平澤さん。

衛生管理がされた近代的な酒蔵を案内されるなかで、はっと懐かしい香りと質感に出会った場所があります。『製麹室』という、蒸した米に麹(麹菌)をつけるその部屋は、扉も壁もそのほとんどが昔ながらのスギ板張り。扉を開けた瞬間に、清涼感があふれるスギの香りと米麹の匂いが、身体の中にも充填されるような気がしました。

杉は酒造りの御神木

その間、30年前に立ち上げたブランド『久保田』が日本中に名を馳せた後も、仕込みに使う水はすべて、「社屋脇の井戸」から汲まれる水。そして『久保田』を支えるもう一つの原料「米」は、地元長岡を中心に、新潟県内産のものだけをつかっています。

朝日酒造の前身である『久保田屋』が越路で酒造りをはじめたのは天保元年。まもなく190年が経ちます。

「久保田は越路の、新潟の「地酒」なんです。この風土から生まれる酒なんですよ」(平澤さん)

同じ醸造酒でもワインは、ブドウを絞り果汁のなかの糖分を発酵させるといって行程的にはシンプルなお酒です。味は果汁の質と管理で決まります。それに対し日本酒は、麹による「糖」の生成と酵母による「アルコール発酵」が同時進行するという、少し複雑な行程を踏みます。それはある意味、人が働きかける余地が大きなお酒だともいえます。ところが平澤さんは、「すべては米と水」。そう言い切るのです。

「環境保全活動は、我が社の経営上欠かせない「リスク管理」なんです。異常気象で米がとれなくなるかもしれない、地下水が枯れるかも、水質汚染で使えなくなるかも、お米自体が薬害汚染を受けるかもしれない…。そうならば酒造メーカーは存続できません。環境を守ることは、会社の経営基盤を固める、欠くことができない事業なんです」

「環境保全活動は、我が社の経営上欠かせない「リスク管理」なんです。異常気象で米がとれなくなるかもしれない、地下水が枯れるかも、水質汚染で使えなくなるかも、お米自体が薬害汚染を受けるかもしれない…。そうならば酒造メーカーは存続できません。環境を守ることは、会社の経営基盤を固める、欠くことができない事業なんです」

「できた米をただ買うのでは、本当の酒造りは分からないと思います」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」

「良い酒をつくる魔法はないんです。要は原料の品質です。それをつくってくれるのは、越路の自然、新潟の自然です。良い酒造りというのは、その自然風土にどう寄り添っていくのか…という作業だと思っんですよ」



越路は昔から「酒屋者」が多かった地区。雪に閉ざされる冬、酒造りのプロ集団として県外へ出稼ぎに行っていた。



田んぼで風の匂いをかぎ、畑で匂いの味覚を味わい、そこから季節や料理に合わせた酒をつくる。

田んぼの一年を思い出しながら、
できた酒を飲む。
それこそが格別な酒です。

育てをして生きていく…平澤さんが目指すそれは、まさにシェアリングネイチャーの精神です。

物ではない、「酒」

「酒造りは、すべての感覚をフル回転して取り組まなければならない仕事です。舌も使えば、肌感覚も大切です。温度を感じ、匂いを感じ、いつもとどう違うのかを見極める。五感を研ぎ澄ませ、目の前の麹や酵母などがどういう状況にあるのかを確かめていくのが酒造りなんです」

機械化された工場（蔵）を見て、オートメーションでつくっていると誤解されることもあるそうですが「いくら近代化しても、麹の手入れ」や、発酵途中の水と米を混ぜ合わせる「權入れ」など、要所は人が抑えている」と話す平澤さん。

そして、少量生産のものは、昔ながらに「人の手」で造るようにしているともいいます。

「酒造りに必要な行程、その理由を、現場を預かる社員に身を持って理解してもらうためです。それは、技術の継承、としての「感性」を育てる大切な場であるともいえます」

二つある蔵それぞれに、杜氏を置く朝日酒造。その杜氏は、決して研究者などではなく、越路周辺で育った生粋の「現場の叩き上げ」社員です。

そうして行われる「酒造り」のおもしろさを、平澤さんは「思い通りにはならないところ」だといいます。

研究を重ね、最新の技術を駆使してデータ管理を行い、確信をもって造っても、一寸違わぬということはない。「それが自然相手の仕事」だから。「本来は、田植えをして、田んぼの草取



毎年、造り酒屋の玄関に飾られる青々とした杉玉は、「新酒ができました」の合図だ。



平澤さんより久保田「紅寿」をプレゼント

読者アンケートに答えていただいた方の中から抽選で2名の方にプレゼントいたします。詳しくは、本誌P.10をご覧ください。

りをしながらいろいろな生きものを見て、収穫をして、その米で酒を造る。そして、過ごした1年間のことを思い出しながら酒を飲む。その酒の味は、格別だと思えますよ」

それこそが、まさに「地酒」。そう思うとき「日本酒を単なる「物」として飲んでしまうのはもったい」と思うのだ。

そういう思いが高じたのか、16年前より朝日酒造では『あさひ日本酒塾』という講座を開催し、平澤さんはその塾長を務めています。10月から翌年3月までに日帰りの講座が4回。そして、麹の話や麹作りなどの勉強を終えた卒業生は、希望すると『勝保河内』の棚田での米作り（田植え、草取り、ホタ

「定点で自然を見続けることはとても大切です。そこで自然がどのように移ろって行くのか、自分は何ができるのか。それらを米作りを通して感じ、地域の自然とじっくり歩いていきたいと思うんです」

平澤さんの話を聞いていたうちに、無性に、四季を感じて造った「物」ではない本来の地酒を、味わってみたいくなりました。

自然と
よりよいながら
お酒を飲むこと
平澤 聡
私の
シェアリング
ネイチャー

Event Report 1

葉っぱをモチーフに 作品づくり！ 「葉っぱアートセミナー」

2016/3/26、27 葛西満里子(大分県)
葉っぱを使ったネイチャーゲームやものづくりが大好きな私は、内容に魅かれて即申し込み。セミナーの最初は「山の幸染め」。好きな葉っぱや押し葉を選び、その形を染料がついた紙とアイロンを使ってハンダナに定着させていきます。夜は、レジン樹脂を使ったストラップやペンダントづくり。そして、二日目は純銀に葉っぱを押し当て、葉脈を写したかわいいういびアスをつくりました。ひとつひとつが愛おしい作品となり、充実したセミナーでした。



Event Report 2

ネイチャーゲーム リーダー養成講座

2016/5/3、4 柚木健二(茨城県)
風が揺らす葉音や鳥の声に耳を傾け、春の空気を肌を感じ、じっくりと木の幹に触れる…そのような普段の生活では感じられないものや、忘れていた感覚に改めて気づくことができました。この感覚や気づきを大切に、もともと自然のなかに入り、自然に触れたい。自分の子どもと、そして少しでも多くの方に、自分なりの伝え方で自然案内ができればいいと思っています。



つなごろう ニッポン! 2011 NATURE GAME

被災地 復興支援情報

揺れても揺るがない 暮らしの甦りを願って

小里アリス(熊本県)

熊本県南部の被災を免れたシェアリングネイチャーの仲間と協力して、地震直後から被害の大きい地域に支援物資を届けつつ、訪れた場所ではできる限りお茶を急須で丁寧に淹れ、湯呑みで飲んでいただき、一緒にお話をしています。不安を少しでも和らげることができたらと思います。ある山の奥の集落では、被災した高齢の方々が寄り合う場所をつくり、川で魚を釣り、畑の野菜をおかずをつくり、湧き水で茶碗を洗っていました。一般的な「避難所」とは少し趣が違い、自然の中にあるものを活かし、93歳の方も元気に過ごしていました。災害は辛いことですが、人と人の心を近づけても揺るがない暮らしの甦りを願って、長期的な活動を続けていきたいと思っています。



熊本地震 支援活動

熊本地震の被災者の方々への支援活動へのご協力をお願いします。下記4つの支援活動を展開中です。

- ①活動支援金の募集
- ②被災した親子への支援活動
- ③一般ボランティア活動
- ④被災した会員の会費免除と指導員ハンドブックの無償提供

詳しい情報は下記ページをご覧ください。
<http://www.naturegame.or.jp/news/002996.html>

News

2016年度助成金採択状況

下記の助成金が採択されました。

- スポーツ振興くじ助成事業
- ◆広報ツール
- ◆ネイチャーゲームセミナー50会場

2016年度永年会員表彰

会員を永年続けてこられた方を表彰させていただいています。2016年度は、10年継続会員316名、20年継続会員154名が誕生。該当する方には、6月に「記念バッジ」をお送りします。



実践事例・研究報告募集

会員の皆さまの実践事例や研究報告を募集しています。多くの仲間にとっての貴重な資料となりますので、積極的にご応募ください。

- 応募締切り：6月30日
- 応募方法：リーダーハンドブック理論編(第7版) P.121、またはホームページをご参照ください。
- 応募先：jirei@naturegame.or.jp

シェアリングネイチャー奨励賞募集

ネイチャーゲーム指導員および組織の優れた活

動や研究を奨励しています。さまざまな取組みをご応募ください。(自薦・他薦は問いません)

- 応募締切り：6月30日
- 応募方法：リーダーハンドブック理論編(第7版) P.123、またはホームページをご参照ください。
- 応募先：shoreisho@naturegame.or.jp

シェアリングネイチャー普及賞募集

会員個人の目線で「ありがとう」を伝えたい方をご推薦ください。いつもアドバイスをくれるあの人、応援してくれるあの人、新しく地域の会に加わってがんばっているあの人など…推薦理由はあなた次第！ご応募お待ちしております。

- 応募締切り：6月30日
- 応募方法：ホームページの「会員のページ」の「シェアリングネイチャー普及賞募集」をご覧ください。
- 応募先：arigatou@naturegame.or.jp

専門委員会報告

- 指導者養成委員会—3月7日(月)
 - ・全国ネイチャーゲーム研究大会の検討
 - ・コーディネーター研修・養成の変更
 - ・インストラクター研修講座の内容検討
 - ・講座講師実習の変更
 - ・指導員報改訂方針の検討
 - ・各種人材認定審査 他

- 自然災害対策委員会—4月18日(月)
 - ・熊本地震に対する今後の支援について

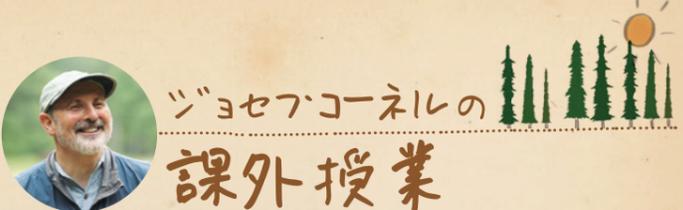
全国銘菓お茶っこ広場

東日本大震災の被災地で仮設住宅にお住まいの方々のコミュニティ支援を続けています。あなたの地元銘菓を送ってください！

実施日

- 大槌(岩手県)：6/19(日)、7/24(日)
- 雄勝(宮城県)：7/3(日)

詳しくは↓
http://www.naturegame.or.jp/about_us/action/ochakko/



ジョセフ・コーネルの 課外授業

「シェアリングネイチャーライフ」をひも解くコーナーです。ネイチャーゲームの創始者 J・コーネルの講演録から未来に伝えていきたい言葉をピックアップしてご紹介します。



移ろいやすい心

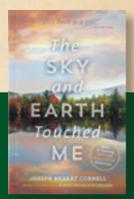
残念ながら、人の心はめったに静かになりません。心理学者によれば、人間は頭の中で1分間に300もの“ひとり言”を言っているそうです。2010年、ハーバード大学のふたりの研究者は「成人の脳は47%の時間、今やっていることと関係のないことを考えている」という研究を発表しています。

私も以前、オーストラリアで25人の教育者に実験をしたことがあります。それは、1本の樹木の前に立ち、できる限り長くその木に意識を集中し、もし木とは別のことを考えてしまったら、手を挙げる…というものです。すると、なんと6秒後には全員の手が挙がっていました。

ある物からさまざまなことに意識が移るのは、自然なことかもしれません。けれど、常に心が動き“今の瞬間”を離れてさまよってしまったら…他の人や自然との深いつながりを感じることはできないのではないのでしょうか。

ジョン・ミューアは「木を知るためには、木のように心配事や時間から自由にならなければならない」といっています。人間特有の欲求やせわしなさを静められたとき、真の自然とのコミュニケーションが可能になるのです。

Joseph Cornell
1950年米国生まれ。野外活動インストラクターを経て1979年Sharing Nature with Children」発表。以後、世界的なナチュラリストとして活躍。当協会名誉会長。



2016年・ジョセフ・コーネル来日情報
 ★9月「The Sky and Earth Touched Me」日本語版出版
 ★9月30日(金)～10月1日(日) 会員のつどい/キープ自然学校
 ★10月4日(火) 18:00 講演会・パネルディスカッション/東京大学
 ★10月6日(木) 19:00 竹村真一氏との対談/大手町3×3Labo future
 [申込・問い合わせ] jimukyoku@naturegame.or.jp

Nature Game 普及30周年
いまだから
もっと仲間を増やしたい

「ネイチャーゲームリーダーになろうよ!」

レクリエーションや自然観察会をやっていた人たちに

30年前、センセーショナルな感動を与えた「ネイチャーゲーム」。いまや野外活動のスタンダードとして認知されるようになりました。こらからの30年に向かって、全国でリーダー養成講座を開催中。



ネイチャーゲームリーダー養成講座 受講生募集中

- 6/25(土)～26(日)宮城
 - 8/6(土)～7(日)岩手
 - 8/12(金)～14(日)山口
 - 8/20(土)～21(日)山形
 - 8/27(土)～28(日)長崎
 - 9/10(土)～11(日)高知
 - 9/17(土)～19(月祝)埼玉
 - 9/17(土)～18(日)神奈川
 - 9/17(土)～19(月祝)大坂
 - 9/17(土)～19(月祝)大坂
 - 9/24(土)～25(月祝)富山
- 詳しくはこちらへ [ネイチャーゲーム 資格 検索](#)

前を向け。未来たち。

追いかけて来い。追い放して行け。若い君たちの可能性こそが未来だ。

スポーツくじ BIG

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。www.toto-growing.com ©19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売・独立行政法人日本スポーツ振興センター

1990

初級指導員 第1期生が誕生!!

香川県シェアリングネイチャー協会理事長 豊田佐雄さん

初級指導員第1期生

社会の動き 1986 ●チェルノブイリ原発事故 ●三原山大噴火

1990 ●大阪で花と緑の博覧会開催 ●東ドイツ統一 ●平成天皇が即位 ●日本人初の宇宙飛行士 秋山豊寛さん宇宙へ

1991 ●湾岸戦争勃発 ●霊山・普賢岳で火砕流

1992 ●PKO法成立 ●自衛隊カンボジア派遣 ●リオデジャネイロ地球サミット開催 ●パルセロナ五輪 ●毛利衛さん、宇宙へ

1993 ●サッカーリーグ開幕 ●北海道南西沖地震 ●冷害による米不足・外国産米輸入

協会の動き ●日本での普及活動スタート ●コーネルさん初来日 ●翻訳版「ネイチャーゲーム」出版

●「ネイチャーゲーム初級指導員養成講座」スタート ●会員向け情報誌「ネイチャーゲーム」創刊号発行 ●「ネイチャーゲーム研究所」設立 ●指導員ハンドブック第1版発行

●第1回アナンダ村ツアー ●「ネイチャーゲーム2」出版

●「ネイチャーゲーム3」出版 ●全国一斉親子で楽しむネイチャーゲーム大会スタート ●ネイチャーゲーム中級指導員養成講座スタート ●単位認定制度スタート

●任意団体「日本ネイチャーゲーム協会」設立 ●地域ネイチャーゲームの会活動スタート(26会)

「世の中を変える力がある」
目からウロコだった
ネイチャーゲームとの出会い

が話題になった時代です。「それまでレクリエーション活動をしていて、自分が指導者としての技術を磨いて、自然と人を繋ごう!」とがんばっていたんですが、ネイチャーゲームをやった、それが手順さえ踏めば誰にでもできる。「目からウロコが落ちる」とはまさにこのことです。ネイチャーゲームは総合芸術だ、世の中を変える力があると思えましたね」

すぐに香川県ネイチャーゲーム研究会を立ち上げ、子ども対象の登山キャンプにゲームを取り入れるなどの活動を始めた豊田さん(石原慎太郎・盛田昭夫共著)

田さん。いつしかネイチャーゲームの普及に夢中になり「レクリエーション関係の資格を全部手放してしまった」ほどに。そしてその思いは衰えず…

「人間は地球財産を食いつぶし、目先の利益ばかり考えて…。子どもを見れば、屋外で裸足になるのを嫌がる子やアレルギーに悩む子が増える一方です。だから自然のなかで遊ぶ大切さを伝えたくて、未来をつくる若い人にネイチャーゲームのよさを届けたくて、焦るんですよ!」

そういう豊田さんは80歳。今も現役リーダーです。

イラスト/初澤久美 取材/水信亜衣

アンケートが
投稿しやすくなりました

アンケートに答えて
シェアリングネイチャー
グッズをゲットしよう

Present

応募締め切り:2016年7月15日

アンケートは…
 ◆HPトップページから <http://www.naturegame.or.jp/>
 ◆メール・FAXでも sasaki@naturegame.or.jp
 FAX 03-5363-6013
 メール・FAXの場合は下記をご記入ください【アンケート項目】
 1. お名前 2. ご住所(会員番号) 3. 本誌の評価(A.とても良い/B.良い/C.普通/D.良くない) 4. 良かったコーナー 5. プレゼント希望(①/②/③) 6. ご意見・ご要望

晴れた日は太陽エネルギーが大活躍!!

新酒の木自然を想いながら、味あろ〜♪

米も水もみんな地のも!

中着のサイズは10×14cm 大きめのポケットなら取っちゃん!

お日さまは夜もやさしく照らしてくれる?!

暑めば、なんと高さが25cmに空気で簡単に膨らむ

明るさは3倍アップ!

①久保田「紅寿」 2名様
特集で取材した朝日酒造の代名詞「久保田」。『紅寿』は口当たりがわずかに甘く淡麗、かおり豊かな1本。冷酒が常温で! 定価:1,620円/720ml(朝日酒造)

②太陽の火おこしキット 2名様
太陽の熱を集めて火おこし! 子どもでも簡単に火がおこせ、太陽のパワーを実感できます。付属の中着にコンパクトに収納できるので、持ち運びもラク。定価:648円(ネイチャーゲームショップ)

③エムパワード防水型LEDソーラーランタン 1名様
災害時にも役立つ、太陽電池で点灯するランタン。軽量で、使わない時は小さく収納できます。充電8時間で点灯6〜12時間。定価:3,085円(ネイチャーゲームショップ)

Photo by Yosuke Kashiwakura

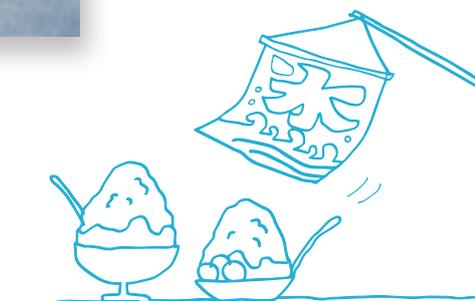


「おいしい」で
結ばれる
自然や風土



鳥海山の伏流水が育てた
大きな岩牡蠣

雪渓の下を流れる川の水を水筒に汲み、体へ取り込めば、山へ入る準備完了。生まれたての清らかな水と雪渓の冷気に、身も心も凜となる。



なんにもしない
アウトドア

土地の風土に深く根付く「旬」。
「おいしい」は、知らない自然に触れる
きっかけをくれる。

私は山と海の両方に、繋がることのできたんだ。
これは鳥海山の恵みの水が、海で育む「山の幸」。
海底へと流れこむ伏流水の行方を辿るように
海に向かって下山し、岩牡蠣をほおぼった。

冬にしか食べたことなかった牡蠣に
『夏の旬』があると知ったのは
東北、鳥海山に登ったとき。
山の雪解け水は、美しいブナ森や固有の花
そして庄内平野をうるおし、美味しいお米を育てる。

自然が紡ぐ、物語の味。だった。
ハイカーだからこそ堪能できる
冬の冷気に頬を赤らめて歩いた
山歩きまるごとが、この「かき氷」で結びついた。
地図に記されていた「氷池」の文字に
それではできたてはやほや。

「かき氷は夏の食べ物！」と思っていた私に
『冬の旬』を教えてくださいましたのは
「梅の甘い香り漂う、2月の秩父長瀨、宝登山」
下山後に立ち寄った天然氷のかき氷屋さんで
「旬にきたね」と思わぬ言葉をかけられた。
山の恵みの湧き水が、冬の力でじっくりと凍り

Yuri Yosumi profile

白百合女子大学卒。執筆、講演、ウェア開発を通し、「大自然と自分らしいスタイルでつながりたい」というメッセージを発信。山スカートの先駆者、着物着付け師としての顔ももつ。現在、フリーペーパー『山歩みち』などで連載中。著書に『一歩ずつの山歩き入門』他がある。



My Collaboration

「四角友里 色あわせカード」

自然の中にある色を探して楽しむカード。四角友里トークショーで配布中！購入は「ネイチャーゲームショップ」で。



設置店募集！

シェアリングネイチャーライフ Vol.13
通巻 94号
発行日 2016年6月15日
発行人 西澤信雄
発行所 公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-13-17ワークスナカノ2階
Tel. 03-5363-6010 Fax.03-5363-6013
http://www.naturegame.or.jp/
jimukyoku@naturegame.or.jp

編集：佐々木香織、水信亜衣、伊東久枝
デザイン・DTP：花平和子
表紙イラスト：矢原由布子

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

スポーツクリ
BIG
スポーツ振興くじ助成金を受けて
作成しています